

論文要旨

研究の背景

妊娠が可能である年齢に乳がん罹患する女性は少なくない。看護職者が患者にどのような支援を行えばよいのか明らかとなることで、妊娠・出産を含めた乳がん患者の支援の看護や助産の実践に貢献できると考えた。

研究目的

本研究は、乳がん患者に対する妊娠・出産も含めた支援の実際と、サポート・ニーズを明らかにすることで、妊娠・出産に関する支援のあり方について考察し、看護職者に対する乳がん患者の妊娠・出産の支援の啓発リーフレット試作版の作成を目的とした。

研究方法

乳がん患者の妊娠・出産の支援に携わる看護師 2 名のこれまでの実践経験の語りを通し、乳がん患者の妊娠・出産に関するサポート・ニーズと実践されているケアの内容を分析した。それらを基に看護師、助産師に対する乳がん患者の妊娠・出産の支援の啓発リーフレットの試作版を作成する教材開発研究である。

データ収集期間は、平成 23 年 8 月 5 日から平成 23 年 12 月 15 日であり、半構成的面接法によってインタビューを実施した。看護職者が考える乳がん患者に必要なケアの内容を帰納的に分析し、コアとなるカテゴリーを抽出した。それらを基に看護師、助産師に対する乳がん患者の妊娠・出産の支援の啓発用リーフレットの試作版下案を作成した。

下案作成後、インタビューを行った看護職者 2 名と乳がん患者 3 名より、リーフレット試作版下案の内容についてコメントをもらい洗練し、リーフレット試作版を作成した。

研究に際しては、倫理的配慮を遵守して行った。

研究結果

インタビューデータの分析を行い、看護職者が考える乳がん患者に必要なケアの内容を帰納的に抽出した結果、【妊娠・出産に関する情報を提示する】【理解度と意思を確認する】【治療内容の理解を促す】【意思決定から治療までの気持ちを支える】【他専門職とともに支える】【家族を支える】【乳がん治療と生殖補助医療の治療を支える】の 7 つのコアカテゴリーと 26 のカテゴリーが抽出された。看護職者に対する乳がん患者の妊娠・出産支援の啓発リーフレット試作版の内容は、乳がんと妊娠・出産についての導入部分と、抽出された 7 つのコアカテゴリーで組み立てられた支援の流れで構成した。導入部分は「はじめに」とし、乳がんの罹患年齢と生殖年齢の関係について図を加えて表記し、リーフレット試作版

の作成の目的を記した。「支援の流れ」の部分は、抽出されたコアカテゴリーを支援の流れの項目名とした。それぞれの項目について、知識や具体例を加え、支援の実践につながるような内容とした。リーフレットは、A5サイズで表紙を含め4ページとし、乳がんと生殖補助医療に関して専門的な知識を持つ看護職者以外にも分かりやすいように作成した。

結論

看護職者が考える乳がん患者に必要なケアの内容を帰納的に抽出した結果、【妊娠・出産に関する情報を提示する】【理解度と意思を確認する】【治療内容の理解を促す】【意思決定から治療までの気持ちを支える】【他専門職とともに支える】【家族を支える】【乳がん治療と生殖補助医療の治療を支える】の7つのコアカテゴリーがあることが明らかになった。乳がん患者の妊娠・出産も含めた支援を行う際の情報提供や、必要な支援と考慮点について具体的に明記したリーフレットの試作版を作成した。